

令和6年度大牟田市スポーツ推進審議会（摘録）

開催日時 令和6年11月11日（月）14時05分～15時11分

開催場所 大牟田市役所 新館3階 経営会議室

出席者 【委員】道下竜馬委員（福岡大学）、白石政嗣委員（大牟田市体育協会）、江頭信次委員（大牟田市体育協会）、杉野健次郎委員（大牟田市体育協会）、黒田洋委員（大牟田市スポーツ少年団本部）、堺美穂委員（大牟田市スポーツ推進委員協議会）、谷口靖宏委員（右京ふれあい健康クラブ）、福山穂積委員（大牟田市障害者協議会）、山岡哲委員（大牟田市校区コミュニティ連絡協議会）、佐藤嘉洋委員（福岡県スポーツ振興課）

【事務局】（市民協働部）大倉野部長

（スポーツ推進室）西村室長、田中主査、永山

次第

1. 開会

西村スポーツ推進室長より開会を宣言した。（14時05分）

会議が公開であることを確認した。

2. 辞令交付

机上配付により交付を行った。

3. 市民協働部長挨拶

大倉野部長が挨拶を行った。

4. 委員及び事務局の紹介

出席委員及び事務局の自己紹介を行った。

5. 会長及び副会長選出

会長に白石政嗣委員、副会長に堺美穂委員を選出した。

6. 審議

審議会条例に基づき、白石会長が議長となり議事を進行した。

(1)大牟田市スポーツ推進計画の令和5年度実績について

事務局	（別紙資料に基づき説明）
（質疑）	

委員	<p>資料 1-2 の成果指標等について、R5 目標値及び実績値をパーセントで表しているものや参加人数、件数で表しているものがある。参加人数で表しているものはこの表を見て理解できるが、パーセントで表しているものは非常に分かりにくい。どのような人達を対象にしている、対象は何人なのか、件数はいくつなのか分からないため、事業の成果をなぜ A(十分達成)や B(概ね達成)、C(要改善)に評価したのかが分からない。数値を理解できないため、改善していただきたい。</p>
事務局	<p>委員より昨年度も「成果指標等の部分が分かりにくい。」というご意見をいただいていたので、事務局としては照会を各課にかける際に、少しこの辺の表現ぶりを工夫したつもりでいたが、人数やパーセンテージといった単位がまちまちである部分が確かにあるため、このような部分についてさらに精査していきたいと思う。</p>
委員	<p>新しい競技スポーツというか正式なスポーツを推進する基準がどうなっているのかを伺いたい。スポーツを大きく広げていく場合には、いろいろなものを拾い上げていかなければならないが、最終的には日本スポーツ協会の中に加盟されている競技団体を応援していくのが本来の筋じゃないかと思う。今年、高嶋さんが銅メダルを取った。彼女はインタビューを受けて、「ゆくゆくはふるさとでフェンシングを広めたい。」ということをおっしゃっている。そのような場合に、大牟田から 4 人目メダリストが出たからフェンシング協会を作るのか、ということ。数字からすればそうなると思うが、いろいろな地方で盛んになっている未公認競技を応援していく、その基準を示していただけたらなと思う。</p>
事務局	<p>新しい競技というか、最近では今お話いただいたように、本市から高嶋さんがメダルを獲得されたが、このような方を応援する、その推進の基準を明確に持っているわけではない。一昨年度策定した新しいスポーツ推進計画は、途中で中間見直しを当然やっていくため、そういった中で、そのような新しいスポーツの台頭に対する応援の体制というか、市としての推進の体制の視点も当然ローリングして入れていく必要があると思う。今時点で明確な答えになっておらず大変申し訳ないが、次期計画策定時にはそういった視点も大事にしながら検討していきたい。</p>
委員	<p>(資料 1-2 の No.50)西日本中学駅伝競走大会について、この事業の成果が B(概ね達成)評価というのがとんでもない。チーム数で評価する規模のものではない。</p> <p>また、(資料 1-2 の No.18)スポーツ市民の祭典についても、いろいろなイベントや大会が重なり、児童や生徒が参加できないなど様々な事情がある。客観的に見られて、「盛況であったが、雨天のために参加が</p>

	<p>少なかった。」というような表現にした方が適当ではないかと思う。</p>
委員	<p>(資料 1-2 の No.59)ホストタウン継承事業について、国際事情が変わって、アフガニスタンがもうスポーツの世界からほとんど外れてしまっている。ジョージアもちよっと今厳しい事情になっているが、この事業はどのような形で続けていかれるつもりか。</p>
事務局	<p>ホストタウン継承事業については、東京 2020 オリパラ事業継承大牟田市実行委員会で、毎年事業内容を議論していただいている。今ご意見いただいたとおり、ホストタウンであるアフガニスタンやジョージアとの交流は、近年厳しい状況が続いた。東京大会から時間が経ち、パリ大会も終了した中で、今年 8 月に実行委員会を開催し、今後のあり方について議論の提起をさせていただいた。この委員会の中では特段、大きな議論とはならなかったことから、今後整理をしていく必要があるのではないかと認識しているところである。</p>
委員	<p>スポーツを通しての国際交流、ぜひこれは途中でやめるのではなく、息の長いやり方をやっていく必要があるのではないか、そのようなことを委員が言われている。よろしく願いたい。</p>

(2)大牟田市スポーツ推進計画の令和 6 年度計画について

事務局	<p>(別紙資料に基づき説明)</p>
(質 疑)	
委員	<p>(資料 2-2 の No.5,6,7,11,12)アクティブシニアデビュー塾について、とても評判が良いはずだが、毎年やっていて、同じ方が参加されている可能性が無きにしも非ず。これは初心者教室という形のものと一緒になので、継続事業という形でそこで育った人達を見ていくっていうのに対しての枠がないから、毎年同じことをやっているのではないかという気がしないでもない。継続事業という形のを今後新しく入れ込んでいくというのは可能か。</p> <p>もう 1 点は、おおむたアリーナのトレーニング室はとても評判が良く、昼間は番号札を持って待っていらっしゃる方もおり、半年間で利用者が 1 万人を超した。なぜそんなにすごいのかというと、そこにいる運動指導員がプロというか専門家だから。健康づくり課が(資料 2-2 の No.23)転倒予防教室をされているが、設備や専門家がそろっている、市民から認知されている場所に集約していく方がいいのではないかと思う。専門家がいるから、それにプラス医療が加わったら、場所的には最高にいい。あちこちでやるよりは、1ヶ所に集めて、マイクロバス動かして集客してでも集中的にやって、市立病院も近いため、そのような形で総合的に考えられたらどうか。来年度からの話。</p>

委員	委員が言われたとおり、重複するようなものがたくさんあり、1個にまとめた方が人が集まることもあるので、少し整理してもいいのかなと思う。
委員	委員が言われるように、現場の目線を取り入れたほうがいいと思う。何に困ってて、効果的にやるためにはどうしたらいいのか。非常に貴重なご意見だと思う。
事務局	<p>おおむたアリーナのトレーニング室については、非常に好評いただいております。ご案内あったように、半年間で利用者が1万人突破したと、つい1ヶ月程前に伺った。時間体によっては待ちも発生しているということで大変ご不便をおかけしている部分もあると思うが、人気がある要因は、ご意見いただいたように、プロのトレーナーさんが常駐しており、マンツーマンでいろいろな指導をしていただけるという点だと思っている。マシーンについても、初心者や年配の方々が取り組みやすいような機械を今回全部入れ替えているため、好評いただいているのだと思う。すでにこのトレーニング室を活用して、庁内でも事業を展開しているところがあると伺っており、来年度以降、さらにそういったものが進展していくように応援していきたいと思っている。</p> <p>また、ご質問いただいたアクティブシニアデビュー塾については、生涯学習課(地区公民館)と福祉課の連携ということで、毎年事業を行っている。目的は60歳以上の方の健康増進や、そこで仲間づくりをしてサークル化に発展していったり、或いは、まなばかんという生涯学習ボランティア登録派遣事業をしているが、そういったところに登録をしていただいて、受講者が逆に外向いて講義や説明を行うことまで発展していく、という学びの循環を目指して毎年行っている。そのため、同じような事業のように見えるかもしれないが、受講する方は毎年変わっており、ここをきっかけとして、サークルづくり、仲間づくり、そして地域へ学んだ成果を還元していく、というようなことで行っている事業である。</p>
委員	この事業自体は良いのだが、例えば、フラダンスを学んで、初心者からちょっと踊れるようになったので披露したい、という人やグループを支援するものも入れたらどうかという趣旨である。
委員	サークル化すると、皆さんご自身で独立したサークル活動を進んでいかれる。その中で先生をお招きし、指導を受けてどんどん上達し、上手く育っていく、というところがある。その中では、当然公民館主事などがサークル化にあたっての相談に乗ったり、指導や支援をしたりなどがある。上手くいくようにしっかり支援させていただきたいと思う。
委員	右京ふれあい健康クラブの活動は、中学校校区でやっている。素晴らしい体育館ができたが、他のスポーツ施設は空きがない。統廃合

	<p>後の廃校となった学校を何とかしてほしい。総合型地域スポーツクラブとして、県の方からも頑張るよう言われるが、やる場所がなく、大きなイベントをするにも宿泊施設がなければなかなかできないと思う。</p>
委員	<p>やはりスポーツ観光である。泊まって食事してお金を使っただきながら大牟田の良さを知っていただく、そのような意味合いでは宿泊施設が必要である。例えば合宿所の候補地として、勝立中学校は立派で非常に環境もいい。それから北高の跡もある。何とか(北高の跡を)県からお譲りいただく、また勝立中学校をどのように使っていくのか、合宿所や研究所だっていい。やはり地域と、スポーツのプロというかボランティアでやられる方が、行政と1つになってやっていかなければならない。では今何が足りないか、地域の運動する場所がない、宿泊施設がない、そのような問題を行政と一緒に整理整頓しながらできるところからやっていかなければならない。</p>
委員	<p>スポーツをもう何十年もやって感じるのは、県営何とか競技場みたいな施設が大牟田にはない。久留米や飯塚にはたくさんあるため、新しい体育館もいいが、他の施設を充実させて欲しい。</p>
委員	<p>学校の統廃合後に関することについては、スポーツ振興課はどちらかというソフト事業が所管で、そのようなハード事業の所管は教育委員会となるため、ご意見はお伝えさせていただこうと思う。</p>
委員	<p>令和6年度事業計画まで見る限りでは、単純に言うと、例年やっているものの評価をずっとしてきているなというようにしか見えない。令和6年度計画には間に合わないと思うが、今後考えるときに、おおむたアリーナの機能を最大限生かしたような事業の計画性、それから、まとめられるものはまとめていく、そのようなものが必要になってくるのではないかと。人口も減りつつある大牟田で、これだけの事業を限られた予算の中でやるしかないとなると、もう少しそういったものを両方から見つめれば良いものができ上がってくるのではないかとと思う。</p> <p>また、観光との兼ね合いだが、今こそ大牟田はスポーツツーリズムという観点を取り入れながら、本当のまちづくりをスポーツの観点からどうできるのかを、この審議会の中で議論できるような場にしていきたい。そういった意味では、施設も宿泊地もそろってはいるが、計画ができないことには何も手をつけられないというのが現状であるため、私どもが自ら「このようなまちにしたい。」といったものの意見交換ができる場としても、ある意味審議会として必要なのかなと思う。</p>
委員	<p>ここでただ審議をするだけでなく、本当に今言われたように、大牟田のスポーツ振興についてどう取り組んでいったらいいのか、夢でもいいから形を作っていく。そして、それに向かって実行していくことが大事</p>

	<p>だと思う。やはり、皆さんが何を思っているのかという現場の目線を忘れてはいけないと思う。</p>
委員	<p>全日本アーチェリーの日本選手権を、令和8年2月におおむたアリーナで開催する予定である。300人以上が来るため、どこに泊めるのかということに心配している。今までの経過では、結構荒尾や柳川に宿泊している。例えば、何百人もの選手が全国から集まる場合に、民間のボランティアの方たちで、民泊できるような形を作っていくのも1つの方法かと思う。もしできれば、大牟田のすごい売りになると思う。法律的ないろいろな問題もあると思うが、その辺を後押ししていくのもこの審議会ができることではないかと思う。</p>
委員	<p>これは非常に重要なことである。本来大きな大会であれば1,000室必要であるが、今まともに泊まれるホテルがない。しかし、市外には泊めずにどうにかして大牟田でやっていくようにしなければならない。来年にはルートインが開業予定で、九州最大約329室できる。また街なかにも私が作っている。それでもまだ足りない。</p> <p>やはり今言われたように、空き家対策を考えて、そこで安く泊まれるなどということ具体的にやっていく必要がある。そのためには、補助金の利用もあるが、本気になってこのまちを変えるには、投資家も必要である。これは、審議会としては考え方を変えてはいけないと思う。まだすぐには掴めないと思うが、夢は絶対ぶれてはいけない。何とかして、スポーツで大牟田を活性化していきたいと思う。</p>

7. その他

令和6年度版の大牟田の教育の配付について説明を行った。

8. 閉会

西村スポーツ推進室長より閉会を宣言した。(15時11分)